



第二回防災座談会

活発な討論会・貴重なご意見多数あり

「支えあいカード」にて、災害時に「ボランティア」活動に参加希望の方を対象に（41名にて）、去る11月19日（日）午後2時から4時まで、長沼町内会館にて「防災座談会」が開催されました。

午後2時、山岸玲子：防災対策副部長の進行で始まりました。

石井町内会長の挨拶に続いて、参加者全員「自己紹介」、毛利防災対策部長から「災害発災時の現在の対応について」の説明があった後、各地区ごとに「グループ討議」が始まりました。

テーマは（1）各地区「いつときの避難場所」の選定・決定

（2）住民の「安否確認の方法」について

（3）防災訓練の参加者「倍増計画」について

（4）その他「要介護者支援」について「ペット問題」等

各地区（グループ）とも、時間を忘れて、活発な話し合いとなり

各地区から「討議内容の発表」がありました。各地区から共通して出た意見は

「各地区単位での訓練の実施」や「いつときの避難場所」への「看板が必要」、

又「安否確認」は「玄関先タオル」を使用等、

訓練の内容も、遊び心（ゲーム等）」を入れたり、運動会とのコラボ？どこの

地区（グループ）も、小さな単位での訓練が提案されたのは、

ご近所さんとの「顔の見える関係作り」が、最も重要との事でした。

昔から言われている「向こう三軒、両隣」ですかね・・・

今後の、防災対策に、長沼町内会役員・防災部員は、今回の座談会での皆様からの貴重なご意見を参考にして、取り組んで参りたいと思っております。これからも、よろしくお願い申し上げます。

.....本当にありがとうございました。.....

